

# 藤和けんこう通信



2014年5月号 VOL.43

全ては患者さんの為に行動します。

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）

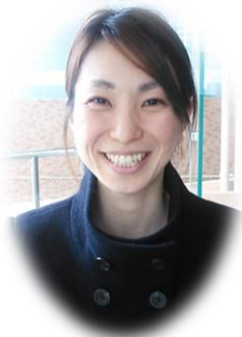
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482

## 今春、入社しました新しいパートナーをご紹介します

### 馬場 悦子

(ばばえつこ)  
鍼灸マッサージ師

前職は整形外科に勤めていたので、リハビリに関する知識経験が豊富です。学生時代はバレエボール部に所属、その時に自分がケガをした事が、この道に入るきっかけでした。とにかく明るく元気を患者様にお届けしたいと思います。  
海老名市在住



### 野々村 颯

(ののむらさつき)  
鍼灸マッサージ師

2歳のころから、祖母をマッサージするようになり、その時からマッサージ師になることが夢でした。とにかく、たくさんの患者さんに接して、喜んで頂けるように施術していきます。ちなみに私の妹も同じ鍼灸マッサージ師を目指して専門学校に在籍しています。  
相模原市在住



### 長谷川加代

(はせがわかよ)  
事務スタッフ  
今年の1月から、事務を担当させて頂いております。施術の職員さんが元気に施術できるようにと、いつもお菓子もってきてくれます。みんな大喜びで食べています。



退職・・・  
石黒一星施術者が4月をもって退職しました。最後の出勤日に記念撮影しました。(写真:左から2番目)  
今後は地元の杉並区で開業をする予定との事です!!

藤和マッサージは、地域のマッサージ治療院として、リーディングカンパニーを目指します。

全ては患者さんの為に行動します。  
患者さんが喜んで頂けるよう一生懸命治療致します。

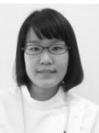
【藤和マッサージ リーディング標語(行動指針)第2条】

### スタッフ紹介のページ

女性から  
ベテランまで



馬場悦子



野々村颯



大川寛



石井武司



丸山修一



加藤賢史



大島敏江

幅広いスタッフ  
が揃っています!



須藤 新



長谷川加代



添田 真理子



板垣 鋭司



榎本多佳子



小木野貴史



近藤マチ子



岩本友保



牧口隆一



渡邊育子



石井 旭



笹川雄司



若井清美



# 要介護要因と死亡原因

～なぜ、『寝たきり』になるのか～

## 要介護要因

- ① ???
- ② ???
- ③ ???

## 選択肢

心疾患 認知症  
 脳血管疾患 がん 高齢による衰弱 肺炎 関節疾患  
 骨折・転倒

答えは下の欄に

## 死亡原因

- ① ???
- ② ???
- ③ ???

## 施術スタッフの得意分野～私はこれが得意です～

動作改善、機能訓練などリハビリ的要素は笹川にお任せ下さい！！整形外科での勤務歴が20年以上あり、施術経験豊富なベテランです。(笹川)



移乗・体位変換

鍼灸も保険適応できます！魚の目には、お灸が効果的です！！削るのではなく、ポロっと取れます。ぜひ、はりきゅうは私にお任せ下さい！（大島）



リハビリが得意

介護度が高い方の、移乗・体位変換などが得意です。古武術を応用し、介護者の負担を減らす動作のアドバイスなどもしています。(小木野)



鍼灸が得意

## 藤和マッサージ ローカルニュース



### ②110番通報！治療院の外看板にトラックが激突！

4月15日、引越しのトラックが当院の外看板に激突！物損損傷で、警察の方をお呼びして現場検証。写真は、新しい看板の取付工事中的の写真です。↓看板負傷で看板全取り替えとなりました。



### ①加幡賢史、男泣き事件！！

営業員の加幡賢史が初回体験施術に同行、患者さんが心から喜んでいる姿をみて感激、帰社後事務所で約10分間うれし泣き……。『患者さんがとても喜んでいる場面を初めて目のあたりにして、感激してしまい……。』とてもピュアな加幡君、毎日頑張ってくれています！施術スタッフが営業の加幡君をフォローするのが日課になっているようです。

### ③訪問車、全てにドライブレコーダーを搭載！

今月から訪問車全車に、ドライブレコーダーを搭載しました。スタッフ一同安全運転を心がけます。

## 要介護要因順位

- ①脳血管障害
- ②認知症
- ③高齢による衰弱
- ④関節疾患
- ⑤骨折・転倒

## 死亡原因順位

- ①がん
- ②心疾患
- ③脳血管疾患
- ④肺炎
- ⑤高齢による衰弱



## 「空間除菌」、新たな広告も問題視…消費者庁

(2014年4月3日読売新聞)

生活空間での除菌や消臭効果をうたった衛生製品「クレベリンゲル」などの宣伝に根拠がないとして、消費者庁が製造販売元の大幸薬品(大阪)などに景品表示法に基づき再発防止を求めた問題で、同庁が同社の新たな広告を問題視し、「根拠がない製品に裏付けがあるかのような印象を受ける」と懸念を伝えていたことが2日わかった。同庁などによると、同社は再発防止を求められた後の3月31日、新聞各紙に「『クレベリン』の主成分『二酸化塩素』は、ウイルス・菌を除去します」という見出しの広告を掲載し、製品の有効性を主張していた。これについて、同庁の阿南久長官は2日の記者会見で、「一般消費者に誤解を与える恐れがある」と批判。同庁は、今後も同社が同じような表示をした場合、同法に基づく更なる対応を検討するとしている。

## 特養待機者、52万人…4年前より10万人増

(2014年3月26日読売新聞)

特別養護老人ホームの入居待機者が全国で約52万2000人に上ることが25日、厚生労働省の集計でわかった。前回集計(2009年12月)の約42万1000人より10万人以上増えた。高齢化に伴い、入居希望者が増えたためとみられる。昨年10月1日時点で都道府県が把握している状況を集計した。厚生労働省は、待機者のうち、介護度が重い「要介護4、5」で自宅で暮らしている約8万6000人(前回比約1万9000人増)について、入居の必要性が高いとみている。特養ホームの定員は、前回調査の09年度から約7万5000人分増えたが、需要に対し供給が追いついていない。

## 会話で脳の血流はよくなるが、嫌いな人では効果薄 認知症対策

(2014年5月19日号プレジデント)

『会話をすると脳の血流は増える。ところが嫌いな人としゃつっても脳の血流はあまり増えない。』  
42ページ国立長寿医療研究センター 遠藤英俊先生

## 遺伝子ビジネスに相談575件…検査苦情目立つ

(みんなの介護ニュース)

経済産業省が28日発表した「遺伝子検査ビジネス」に関する調査報告書によると、2002～13年度に全国の消費生活センターが受けた遺伝子検査に関する相談件数は575件で、このうち2割近い101件は12年10月下旬～14年2月上旬までの約1年4か月間に寄せられていた。遺伝子検査の普及と、利用者の関心の高まりが浮き彫りになった。相談では「太りやすさ」などを判定する検査への苦情が目立った。「検査結果の説明を求めただけでクレーム扱いされた」「検査後に勧められたダイエット食品などを使ったが、痩せなかった」などの内容だ。遺伝子検査は装置の性能が高まり、低コスト・短期間で実施できるようになったことから、新規参入が相次いでいる。しかし、質の低い業者も出ており、経産省は信頼性の向上と市場の育成に向けたルール作りを進めている。報告書は、検査の質を確保するため、業者に国際標準化機構(ISO)などの認証の取得を求めることや、検査の科学的な根拠を利用者に明示することなどを提言しており、経産省は年内にもルールをまとめる。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ  
【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

発行元